

座長へのご案内

《現地参加の場合》

- (1) 従来通り、学術大会会場で座長進行を行っていただきます。ライブ配信にあたり、特別にご用意いただく事項はございません。
- (2) セッション開始の20分前までに、会場内右手前方の次座長席にお越しくください。
- (3) 発表、質疑応答、総合討論を含めて時間内で終了するようにご協力ください。リモート参加者の接続の不具合などトラブルの発生も予想されますが、臨機応変なご対応をお願いいたします。
- (4) 現地参加者からの質問は、従来通り講演会場内設置のマイクを使用した音声による質問となります。WEB参加者からの質問は、ZoomのQ&A機能を用いて参加者（視聴者）からの質問を受け付け、座長の裁量で選択としています。Q&A機能の質問を適宜お選びいただき、WEB参加者（視聴者）の代わりに演者へ質問をお願いいたします。詳細は、セッション開始前に会場スタッフよりご説明させていただきます。

《WEB参加の場合》

- (1) オンライン（リモート）で座長進行を行っていただきます。
インターネット環境が安定して利用できる場所であれば、ご自身のパソコンを使用し、お好きな場所からご参加いただけます。必ず安定したインターネット環境でご参加ください。
※有線LAN接続を強く推奨いたします。
※ライブ配信プログラムはWEB会議システム「Zoom」を使用いたします。事前にインストールをお願いいたします。
※メーカーサポート中のOS、最新のブラウザ以外ではZoomが正常に起動しないことがありますのでご注意ください。
- (2) セッション開始30分前までにオンライン入室をお願いいたします。
- (3) 最初に入室されますと「Chair/Speaker」と表示されておりますので、表示名は「座長:氏名（漢字）（例：仙台 太郎）」と設定してください。
- (4) 発表、質疑応答、総合討論を含めて時間内で終了するようにご協力ください。リモート参加者の接続の不具合などトラブルの発生も予想されますが、臨機応変なご対応をお願いいたします。
- (5) 計時進行はご自身で管理してください。演者が持ち時間を超えて話し続けるようであれば、警告し終了するようにお伝えください。
- (6) 現地参加者からの質問は、従来通り講演会場内設置のマイクを使用した音声による質問となります。WEB参加者からの質問は、ZoomのQ&A機能を用いて参加者（視聴者）から質問を受け付け、座長の裁量で選択としています。Q&A機能の質問を適宜お選びいただき、WEB参加者（視聴者）の代わりに演者へ質問をお願いいたします。詳細は、セッション開始前に配信受付スタッフよりご説明させていただきます。

発表者へのご案内

《現地参加の場合》

- (1) 従来通り、学術集会会場で発表を行っていただきます。ライブ配信にあたり、特別にご用意いただく事項はございません。
- (2) 発表セッション開始の45分前までに必ず、仙台国際センター 展示棟1階「会議室1・2」のPC受付にお越しください。
- (3) 発表セッション開始15分前までに会場内左手前方の次演者席にお越しください。
- (4) 討論時間については座長の指示に従ってください。発表時間は時間厳守をお願いいたします。
- (5) 演台上のモニターとスクリーンは同じものが表示されます。発表者ツールは使用できません。
- (6) 演台のキーボードまたはマウスを使用して操作をお願いいたします。
- (7) レーザーポインターはWEB参加者に見えないため、マウスポインターのご利用をお願いいたします。

《WEB参加の場合》

- (1) オンライン（リモート）で発表を行っていただきます。
- (2) インターネット環境が安定して利用できる場所であれば、ご自身のパソコンを使用し、お好きな場所からご参加いただけます。必ず安定したインターネット環境でご参加ください。

※有線LAN接続を強く推奨いたします。

ライブ配信プログラムへの参加はWEB会議システム「Zoom」を使用いたします。事前にインストールをお願いいたします。ブラウザ版では参加できません。

※メーカーサポート中のOS、最新のブラウザ以外ではZoomが正常に起動しないことがありますのでご注意ください。

(3) セッション開始前

- 1) セッション開始30分前までにオンライン入室をお願いいたします。
- 2) 最初に入室されますと「Chair/Speaker」と表示されておりますので、表示名は「演者：氏名（漢字）（例：演者：仙台 太郎）」と設定してください。

(4) セッション中

- 1) 前の演者の発表終了後、座長から紹介されますので、音声ミュートを解除し、演者挨拶を行ってください。
- 2) 演者挨拶終了後、ご自身で画面共有を行いご発表いただきます。
- 3) 発表終了後、質疑応答がある場合は①現地参加者：講演会場内設置のマイクを使用した音声による質問、②WEB参加者：ZoomのQ&A機能に書き込まれた質問の中から座長が選択し、WEB参加者の代わりに座長が音声で質問をいたしますので、座長の指示に従ってお答えください。

一般演題発表者の皆様へ

注意事項

「日本薬剤師会学術大会 一般演題（会員発表）投稿規程」および「日本薬剤師会学術大会 一般演題（会員発表）の発表および投稿に関するガイドライン」に基づいて発表を行ってください。

患者個人情報に抵触する可能性のある内容は、患者あるいはその代理人からインフォームド・コンセントを得た上で、患者個人が特定されないよう十分留意して発表してください。個人が特定される発表は禁止いたします。

利益相反（Conflict of Interest : COI）の開示について

発表者（筆頭演者のみ）は、発表内容に関連する利益相反状態の開示が必要です。

- ・開示は、口頭発表の場合、タイトルスライドの次に入れてください。
- ・ポスター発表者の場合は、下端に掲示してください。

※スライド見本は下段を参照、ダウンロードしてご利用ください。

開示の対象と基準は以下の通りです。（「日本薬剤師会における学術研究に係る利益相反規程」より抜粋）
〈企業や営利を目的とした団体からの収入（診療報酬を除く）〉

1. 報酬・給与、ロイヤリティ、日当、原稿料、講演謝礼、その他の贈与で、年間の合計収入が同一組織から100万円を超えるもの。
2. 研究費（受託研究、共同研究、助成金、寄付金等）で、年間の合計収入が同一組織から200万円を超えるもの。
3. 株式、出資金、ストックオプション、受益権等企業についての1年間の株式等による利益（配当、売却金の総和）が100万円を超えるもの、または、当該企業の全株式の保有率が5%以上のもの。
但し、「2」については、個人への研究費に加えて、共同研究者または発表者が部署（講座、薬剤部、薬局）の長である場合は、当該部署への研究費は、部署の長の収入として申告・開示する必要がある。

開示すべき COI がある場合

**第55回日本薬剤師会学術大会
利益相反の開示**

演者名: ○○○○

私の今回の演題に関連して、
開示すべき利益相反は以下のとおりです。

【記載例】
 研究費: ○○製薬、XX薬品工業、□□株式会社
 役員・顧問職: ××社
 株: △△株式会社
 特許使用料
 講演料: ○○製薬、XX薬品、
 寄附講座: △△製薬 （注: 該当するもののみ記載）

開示すべき COI がない場合

**第55回日本薬剤師会学術大会
利益相反の開示**

演者名: ○○○○

私は今回の演題に関連して、
開示すべき利益相反はありません。

現地での口頭発表の皆様へ

発表時間

- 特別記念講演、特別講演、分科会、薬学生シンポジウム、会長講演
事前にお知らせいたしましたご案内の通りです。
- 一般演題（口頭発表）
発表7分、討論3分（計10分） ※時間厳守をお願いいたします。
- 口頭発表のみ、WEB配信を実施します。（ポスター発表は現地開催のみでWEB配信は行いません。）

口頭発表形式

- 発表機材はPCプレゼンテーション（1面映写）のみといたします。
- 発表データは、メディア（USBフラッシュメモリー）またはご自身のPCをご持参ください。
- スライドサイズは16：9を推奨します。
（会場内のスクリーンは16：9に対応しているため、16：9でのスライド作成を推奨いたします。
4：3でも投影可能ですが、画面サイズが小さくなりますことを予めご了承ください。）
- PowerPointの「発表者ツール」は使用できません。
- Macintoshの用意はいたしません。Macintoshでデータを作成される場合は、本体持ち込みを推奨します。Windows互換フォントで作成されたデータは会場設置のPCでも正常に表示されるかもしれませんが自己責任でご判断ください。

口頭発表進行方法

- パソコンによるプレゼンテーションは、演台にセットされているモニター（スクリーンと同じ画面）、キーボード、マウスを使用し、各演者ご自身での操作をお願いいたします。持参したPCの場合も同様です。
- 口頭発表中は、座長の進行指示に従ってください。

■現地参加演者の発表データの受付・試写

セッション開始の45分前までに必ず、仙台国際センター 展示棟1階 会議室1・2のPC受付にお越しください。

受付時間：10月9日（日）10：00～18：00

10月10日（月・祝）8：00～15：00

《PC発表データ（PowerPoint）持込みによる発表の場合》

- 1) 口頭発表は、すべてPC発表（PowerPoint）のみといたします。
- 2) PC発表（PowerPoint）データは、Microsoft PowerPoint 2013以降のバージョンで作成してください。
※規定外のバージョンで作成された発表データは、表示に不具合が生じる可能性があります。
- 3) PC発表（PowerPoint）データは、作成に使用されたPC以外でも必ず動作確認を行っていただき、USBフラッシュメモリーにてご持参ください。

- 4) フォントは特殊なものではなく、PowerPoint に設定されている標準フォントをご使用ください。また、ご自身の PC 以外でも文字化け等がなくデータを読み込めるかどうかを事前にご確認ください。

〈データの作成環境〉

アプリケーション：Windows MS PowerPoint 2013, 2019, 2021

フォント（日本語）：MS ゴシック, MSP ゴシック, MS 明朝, MSP 明朝

フォント（英語）：Arial, Century, Century Gothic, Times New Roman

- 5) 発表データは学会終了後、事務局で責任を持って消去します。
- 6) 発表者ツールはご使用できません。
- 7) PC 受付をお通りの上、セッション開始 30 分前までに講演会場内の PC オペレーター席（講演会場内左前方）まで PC 本体をお持ち込みの上、PC オペレーターへお渡しください。セッション終了後、PC の引き取りを忘れずをお願いいたします。

《 PC 本体持込による発表の場合》

- 1) Macintosh で作成した場合は、ご自身の PC 本体をお持込み推奨します。データを持ち込まれる場合は Windows での表示になります。
- 2) 会場で使用する PC ケーブルコネクタの形状は、HDMI および VGA です。この出力端子を持つ PC をご用意いただくか、この形状に変換するコネクタを必要とする場合には必ずご持参ください。電源ケーブルもお忘れなくお持ちください。
- 3) 再起動をすることがありますので、パスワード入力は“不要”に設定してください。
- 4) スクリーンセーバーならびに省電力設定は事前に解除しておいてください。
- 5) 動画データ使用の場合は、下記のソフトで再生可能であるものに限定いたします。

Windows：映画 & テレビ Windows Media Player

ポスター発表の皆様へ

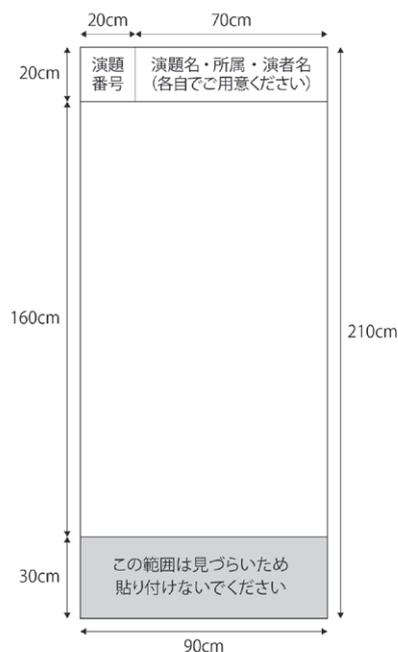
ポスター発表形式

- 現地発表：現地会場での掲示・示説のみです。ライブ配信、オンデマンド配信はございません。

現地発表詳細スケジュール及び会場

会場	貼付時間	示説時間	撤去時間
ポスター会場 仙台国際センター 展示棟1階 展示室	10月9日（日） 9：00～11：30	演題番号奇数： 10月9日（日）16：30～18：00 演題番号偶数： 10月10日（月・祝）10：30～12：00	10月10日（月・祝） 12：00～13：00

- ポスターを貼付するスペースは横幅90cm×縦160cmです。20cm×20cmの演題番号は運営事務局にてご用意いたします。演題名、所属、演者名は、各自でご用意ください。
- 各ポスターパネルに貼り付け用プッシュピンと発表者用リボンをご用意いたします。発表の際にはリボンを胸につけて示説時間にポスターパネル前で質疑応答を行ってください。
- 貼り付け方法は、プッシュピンのみといたします。のりやセロハンテープを直接ボードに使用することはできません。
- ポスターの展示様式は自由ですが、文字は2mの距離からも読める大きさで、図やグラフ、表も20cm角以上の大きさにし、表現はわかりやすく簡潔にまとめてください。
- 会場にはプリンター、PC等の準備はございません。原稿は必ず紙に出力したものをお持ちください。
- 1枚のポスターパネルにつき1演題が原則です。連続して演者や所属機関が共通する場合であっても、ポスターは必ず分離して、連続した形での掲示は絶対にしないでください。
- 撤去時間を過ぎても未撤去のポスターは、事務局にて破棄処分いたしますのでご了承ください。
- ポスター優秀賞の受賞者につきましては、大会終了後、日本薬剤師会HP・大会HP並びに日本薬剤師会雑誌にて発表いたします。



日本薬剤師会生涯学習支援システム「JPALS 研修会コード」について

本学術大会は、日本薬剤師会研修センターの研修認定薬剤師制度認定対象研修であり、2日間で「6単位」となっておりますが、「JPALS 研修会コード」はプログラムごとの設定であるために、JPALS のシステム上は「0単位」と表記されます。

区分	日程・会場	特別講演 / 演題・講師（敬称略）	JPALS 研修会コード
特別記念講演	10月9日（日）11:00～12:00 第1会場 （会議棟 2F 大ホール）	「新型コロナウイルス感染症が我々にもたらしたもの – 現状と今後 –」 東北医科薬科大学 医学部 感染症学教室 特任教授 賀来満夫	48-2022-0001-101
特別講演 1	10月9日（日）15:00～16:00 第1会場 （会議棟 2F 大ホール）	「おかえりモネから学ぶ これからの地域医療」 医療法人社団やまと 理事長 田上佑輔	48-2022-0002-101
特別講演 2	10月9日（日）16:30～17:30 第1会場 （会議棟 2F 大ホール）	「一般住民/バイオバンクを活用したファーマコゲノミクス研究と個別化薬物療法への応用」 東北大学大学院薬学研究科 准教授 平塚真弘	48-2022-0003-101
特別講演 3	10月10日（月・祝）9:30～10:30 第1会場 （会議棟 2F 大ホール）	「「診断時からの緩和ケア」における薬剤師の役割」 東北大学大学院医学系研究科 緩和医療学分野 教授 井上彰	48-2022-0004-101
会長講演	10月10日（月・祝）8:40～9:20 第1会場 （会議棟 2F 大ホール）	「医薬品提供体制に関する薬局・薬剤師の課題」 公益社団法人 日本薬剤師会 会長 山本信夫	48-2022-0005-101

区分	日程・会場	県民公開講座 / 演題・講師（敬称略）	JPALS 研修会コード
県民公開講座	10月10日（月・祝）13:30～15:00 第1会場 （会議棟 2F 大ホール）	「あきらめてませんか、その頭痛 知れば良くなるあなたの生活」 【基調講演】 仙台頭痛脳神経クリニック 院長 松森保彦 【頭痛体操】 埼玉精神神経センター 運動療法士・鍼灸師・介護予防指導員 田中夏美 【パネルディスカッション】 仙台頭痛脳神経クリニック 院長 松森保彦 仙台頭痛脳神経クリニック 看護師 三浦留美子	48-2022-0006-101

区分	日程・会場	分科会 / メインテーマ	JPALS 研修会コード
分科会 1	10月9日（日）14:00～16:00 第2会場 （会議棟 2F 橋）	認定薬局制度の現状と展望	48-2022-0007-101
分科会 2	10月9日（日）14:00～16:00 第7会場 （会議棟 3F 白樺 2）	新型コロナワクチンと治療薬の展望	48-2022-0008-101
分科会 3	10月9日（日）14:00～16:00 第8会場 （会議棟 3F 小会議室 8）	医療のデジタルトランスフォーメーション（DX）の推進と今後の薬剤師業務	48-2022-0009-101
分科会 4	10月9日（日）14:00～16:00 第9会場 （展示棟 1F 会議室 3-A）	薬剤耐性（AMR）対策、感染制御における薬剤師の役割	48-2022-0010-101
分科会 5	10月9日（日）14:00～16:00 第10会場 （展示棟 1F 会議室 3-B）	未来の社会から望まれる薬剤師の養成について	48-2022-0011-101
分科会 6	10月9日（日）14:00～16:00 第11会場 （展示棟 1F 会議室 4-A）	後発医薬品の供給問題と安定供給に向けた対策	48-2022-0012-101
分科会 7	10月9日（日）14:00～16:00 第12会場 （展示棟 1F 会議室 4-B）	医療的ケア児の実態とこれからの取組について	48-2022-0013-101
分科会 8	10月9日（日）16:30～18:30 第2会場 （会議棟 2F 橋）	薬局におけるフレイル・サルコペニア対策への貢献	48-2022-0014-101

JPALS 研修会コード

分科会 9	10月9日(日) 16:30～18:30 第3会場 (会議棟 2F 萩)	学校における新興感染症対策と健康教育	48-2022-0015-101
分科会 10	10月9日(日) 16:30～18:30 第4会場 (会議棟 2F 桜1)	患者さんに寄り添い在宅医療の未来を拓く	48-2022-0016-101
分科会 11	10月9日(日) 16:30～18:30 第5会場 (会議棟 2F 桜2)	地域フォーミュラリの推進に向けて	48-2022-0017-101
分科会 12	10月9日(日) 16:30～18:30 第6会場 (会議棟 3F 白樺1)	がん化学療法における薬剤師の役割と連携	48-2022-0018-101
分科会 13	10月9日(日) 16:30～18:30 第7会場 (会議棟 3F 白樺2)	現行の薬学教育モデル・コアカリキュラムに基づく実務実習の現状と課題	48-2022-0019-101
分科会 14	10月9日(日) 16:30～18:30 第8会場 (会議棟 3F 小会議室8)	患者情報を活用したシームレスな連携と薬物療法の実践	48-2022-0020-101
分科会 15	10月10日(月・祝) 9:30～12:30 第2会場 (会議棟 2F 橘)	災害時の薬剤師の役割	48-2022-0021-101
分科会 16	10月10日(月・祝) 10:40～12:40 第3会場 (会議棟 2F 萩)	活用していますか? RMP	48-2022-0022-101
分科会 17	10月10日(月・祝) 10:40～12:40 第4会場 (会議棟 2F 桜1)	薬物療法における薬剤師・薬局の継続的なフォローアップの在り方と医療機関との連携の在り方について	48-2022-0023-101
分科会 18	10月10日(月・祝) 10:40～12:40 第5会場 (会議棟 2F 桜2)	地域におけるセルフメディケーションの推進	48-2022-0024-101
分科会 19	10月10日(月・祝) 10:40～12:40 第6会場 (会議棟 3F 白樺1)	希少疾病(難病)患者への薬局薬剤師の関わり	48-2022-0025-101
分科会 20	10月10日(月・祝) 10:40～12:40 第7会場 (会議棟 3F 白樺2)	新型コロナウイルス感染拡大防止と薬剤師の役割	48-2022-0026-101

区分	日程・会場	ランチョンセミナー等/演題・講師(敬称略)/共催	JPALS 研修会コード
ランチョンセミナー1	10月9日(日) 12:30～13:30 第2会場 (会議棟 2F 橘)	薬局・薬剤師 DX ～行政・薬局・テクノロジー、3つの視点から考える～ 目指すべき薬局・薬剤師とは?～アクションプラン実現に向けて～ 厚生労働省 医薬・生活衛生局総務課 課長補佐 青柳ゆみ子 薬局 DX の実現のための TIPS ～経営者の決断と苦悩～ PHB Design 株式会社 代表取締役社長 / 一般社団法人 日本在宅薬学会 理事長 狭間研至 薬局 DX の誤解～薬剤師が価値を發揮するために～ 株式会社カケハシ 代表取締役社長 中尾豊 共催: 株式会社カケハシ	48-2022-0027-101
ランチョンセミナー2	10月9日(日) 12:30～13:30 第3会場 (会議棟 2F 萩)	GERD 診療 世界の潮流 塩竈市立病院 / 東北大学名誉教授 本郷道夫 共催: アストラゼネカ株式会社	48-2022-0028-101
ランチョンセミナー3	10月9日(日) 12:30～13:30 第4会場 (会議棟 2F 桜1)	経口 GLP-1 受容体作動薬を臨床で活かすために薬剤師ができること 東京医科大学茨城医療センター 薬剤部 部長 松本晃一 共催: ノボ ノルディスクファーマ株式会社 / MSD 株式会社	48-2022-0029-101
ランチョンセミナー4	10月9日(日) 12:30～13:30 第5会場 (会議棟 2F 桜2)	更年期障害 産婦人科における診断と治療の実際 ～大豆由来の成分「エクオール」の可能性～ 東京医科歯科大学大学院歯学総合研究科 茨城県地域産科婦人科学講座 教授 寺内公一 共催: 大塚製株式会社 ニュートラシューティカルズ事業部	48-2022-0030-101
ランチョンセミナー5	10月9日(日) 12:30～13:30 第6会場 (会議棟 3F 白樺1)	漢方薬とオキシトシン ～心身一如～ 福島県立医科大学 病態制御薬理医学講座 准教授/肥満・体内炎症解析研究講座 特任教授 前島裕子 共催: 株式会社ツムラ	48-2022-0031-101

ランチョン セミナー 6	10月9日(日) 12:30 ~ 13:30 第7会場 (会議棟 3F 白檀 2)	医療の災害への備えと安定供給への取り組み 輸液メーカーとしての安定供給への取り組み 株式会社大塚製薬工場 取締役 曾木一男 医薬品卸としての災害時の安定供給への取り組み 株式会社パイタルネット 代表取締役社長 一條武 災害薬学 - 災害時における薬剤師の役割と経口補水療法 - 石巻赤十字病院 薬剤部長 佐賀利英 共催：株式会社大塚製薬工場	48-2022-0032-101
ランチョン セミナー 7	10月9日(日) 12:30 ~ 13:30 第8会場 (会議棟 3F 小会議室 8)	薬剤師の役割 (片頭痛地域連携) 頭痛診療における薬剤師の役割 ~トレーニングレポートの活用~ 木島脳神経外科クリニック 院長 木嶋保 薬剤師が知るべき片頭痛基礎知識 医療法人社団英麗会東京頭痛クリニック 理事長 丹羽潔 共催：日本イーライリリー株式会社 研究開発・メディカルアフェ アーズ統括本部	48-2022-0033-101
ランチョン セミナー 8	10月9日(日) 12:30 ~ 13:30 第9会場 (展示棟 1F 会議室 3-A)	電磁過敏症って本当にあるの? - WHO の見解を紹介します - 一般財団法人 電気安全環境研究所 電磁界情報センター 所 長 大久保千代次 共催：一般財団法人 電気安全環境研究所 電磁界情報センター	48-2022-0034-101
ランチョン セミナー 9	10月9日(日) 12:30 ~ 13:30 第10会場 (展示棟 1F 会議室 3-B)	地域で支えるがん治療 ~病院と薬局の立場でがん患者さんへの貢献を考える~ 病院の立場から ~かかりつけ薬剤師と連携するために必要な病院からの情報提供 とは?~ 昭和大学病院薬剤部 病院薬剤学講座 准教授/薬剤部 課長・主幹 縄田修一 薬局の立場から ~かかりつけ薬剤師として患者さんのがん治療アウトカム向上に貢 献するには?~ かもめ薬局旗の台店 広池暁子 共催：ファイザー株式会社	48-2022-0035-101
ランチョン セミナー 10	10月9日(日) 12:30 ~ 13:30 第11会場 (展示棟 1F 会議室 4-A)	錠剤がノドにつかえていませんか? 西山耳鼻咽喉科医院 (横浜市南区) 院長 / 東海大学客員教授 藤田医科大学客員教授 西山耕一郎 臨床的機能性の観点からレミッチ OD 錠を検証する 帝京平成大学薬学部 教授 / 静岡県立大学 名誉教授 並木徳之 共催：東レ株式会社 / 鳥居薬品株式会社 / 住友ファーマ株式会社	48-2022-0036-101
ランチョン セミナー 11	10月9日(日) 12:30 ~ 13:30 第12会場 (展示棟 1F 会議室 4-B)	電子処方箋で医療機関・PHR・薬局の連携がどうかわかるか 厚生労働省 大臣官房総務課企画官 医薬・生活衛生局併任 電子 処方箋サービス推進室長 伊藤 建 PHC 株式会社 メディコム事業部 プロダクトマネジメント部 プロダクト戦略室 室長 香川悟朗 共催：PHC 株式会社	48-2022-0037-101
スイーツ セミナー 1	10月9日(日) 15:10 ~ 16:10 第3会場 (会議棟 2F 萩)	知っておいて欲しい頭痛医療~頭痛難民を作らないために~ 頭痛診療における医療連携~トレーニングレポート活用の試み~ 木島脳神経外科クリニック 院長 木嶋保 頭痛医療における薬剤師の関わり~セルフメディケーションと医療連携~ 昭和大学薬学部 病院薬剤学講座 講師 内藤結花 共催：大塚製薬株式会社メディカル・アフェアーズ部	48-2022-0038-101
スイーツ セミナー 2	10月9日(日) 15:10 ~ 16:10 第4会場 (会議棟 2F 桜 1)	緑内障点眼治療の知られざる●● -なぜ、いまチーム医療なの か?~ クリニックの視点から 医療法人社団 尽誠会 グレース眼科クリニック 理事長 内藤知子 大学病院の視点から 山梨大学医学部眼科学講座 教授 柏木賢治 共催：参天製薬株式会社	48-2022-0039-101
スイーツ セミナー 3	10月9日(日) 15:10 ~ 16:10 第5会場 (会議棟 2F 桜 2)	アトピー患者へのスキンケア指導 ~医師及び薬剤師の視点から~ 医療法人社団 廣仁会 札幌皮膚科クリニック 院長 安部正敏 共催：資生堂ジャパン株式会社 (ドゥーエ)	48-2022-0040-101

JPALS 研修会コード

スイーツ セミナー 4	10月9日(日) 15:10 ~ 16:10 第6会場 (会議棟 3F 白檀1)	薬剤師が考える多剤併用(抗うつ剤等)での製品選定のポイント ~在宅医療現場における薬剤師・薬局の現状と役割~ 有限会社飯島 取締役 飯島伴典 薬剤師が考える薬剤選択(アレルギー用薬を中心に) ~無薬局地域における薬剤師・薬局の現状と役割~ I&H株式会社 取締役 インキュベーション事業本部長 岩崎英毅 共催: ニプロ株式会社	48-2022-0041-101
----------------	--	--	------------------

区分	日程・会場	薬学生シンポジウム / メインテーマ	JPALS 研修会コード
薬学生シンポジウム	10月10日(月・祝) 10:40 ~ 12:40 第10会場 (展示棟 1F 会議室 3-B)	「患者のための薬局ビジョン」と「地域医療」を考える薬学生シンポジウム	48-2022-0042-101